

高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画素案について

1 これまでに頂いた意見（要約）と素案への反映について

(1) 計画名称について

意見

老人という言葉が徐々に使われなくなっており、高齢者という言葉が一般的になってきていると感じる。計画名称の「老人」という言葉についても使うことに問題を感じる。



反映内容

老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画の名称を高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画に見直しました。

(2) 他計画との整合性等について

意見

介護保険計画については総合計画との整合性や連携についてお願いしたい。



反映内容

「地域福祉計画 R6～R10」の担当課である福祉課及び「障害者基本計画 R6～R11」の担当課である障がい者支援課と打ち合わせを行い、総合計画や他計画等との整合性等について確認を行いました。この中で SDGs の取組みに係る部分については3計画共通で掲載することとなりました。

(3) 将来像について

意見

変更した将来像の5項目目は「多様な人々が」で始まるが、突然多様性を感じさせる言葉の登場にやや違和感がある。多様性という言葉はジェンダーレスも含むと思うが、高齢者の計画という意味では少し気になる。国の方針に基づいて、多様性を打ち出すのなら「多様な人々」で構わないと思うが、やはり議論、検討する必要があると思う。



反映内容

将来像の項目同士のつながりを意識できるよう次のように見直しました。
支える・支えられるという枠組みを超えて、全ての人が自分の有する能力を発揮し役割をもって活動することで、いきいきと健康に暮らせるまちをともに作りあげている。

(4) 人材確保について

意見

介護人材確保においては、地域社会に介護の仕事の魅力を発信していくことが大切である。そのためには介護現場に従事しているスタッフとその魅力について考える「場」や「時間」づくりが大切だと思う。事業所の取り組みを市としてバックアップしてもらえよう市計画に取り上げていただけたら幸いである。



反映内容

施策の内容の「介護人材確保及び資質の向上」において介護人材の資質の向上に繋がるキャリア研修への支援や介護職場の魅力発信について記載しました。また、生産性向上のため電子申請届出システムの活用について令和6年度中に取り組みます。